

KP

のチカラ

RECRUITING GUIDE
KANDEN PLANT CORPORATION

関電プラントの仕事

長年発電設備の保守を担い、
お客さまの信頼に应运ってきたKP。
これまで蓄積してきた技術やノウハウを活かす舞台は、
新たな事業エリア・事業領域へと広がりつつあります。

エネルギーと環境を中心としたプラントエンジニアリング事業で、広く社会に貢献する企業を目指している関電プラント。
当社の事業を支える5つの「チカラ」をご紹介します。

火力、原子力、再生可能エネルギーをはじめとする発電設備、
その他石油・ガス、化学といった、
社会インフラを支える、あらゆる
産業プラント設備の建設・
据付・改修工事を行います。


造る
チカラ


守る
チカラ


創る
チカラ

関電プラントを支える
プロフェッショナルな
5つのチカラ


気付き築く
チカラ


支える
チカラ

発電および製造設備の定期点検や、修繕
保守、維持管理といったメンテナンスを
行います。そして各種設備がいつでも
正常に稼働できる、ベストな状態を保
ち続けます。

これまでのお客さまはもちろん、
関東圏をはじめとする幅広い
エリアのお客さまへむけて、
当社の安全かつ高品質な工
事を提供し、常にお客さまに
寄り添い、お客さまの立場に
立った提案を行い、お客さまと
の信頼関係を築きます。

発電設備をはじめ、各種プラント設
備の工事計画・設計を行います。豊富な
専門知識をもって、技術基準や品質
確保に至るまでお客さまのニーズに
あわせて、付加価値の高いサービス
を提供します。

本店各部では、企画、人事、経理、安全や品質等、会
社全体を管理するためのルールや方針の策定を行
います。また各事業所では、ルールや方針に基づき、
業務を円滑に遂行しながら、第一線現場で働く
人々をサポートします。

「技術力」「施工力」「発想力」「企画力」「提案力」…

そして、「若い力」から「ベテランの力」。

関電プラント(KP)を支えているのはこれらたくさんの「チカラ」。

これらのチカラが結集し、シナジーを生むことで

何倍、何十倍ものチカラになる。そう信じています。

私たちは、今後火力・原子力発電設備の建設・メンテナンスだけでなく、

幅広く新しいことにチャレンジし続けていくために、

新しいチカラを求めています。

KPのチカラ

最近のKPのチカラが発揮されているトコロ



関西電力㈱姫路第二発電所
(建設～メンテナンス)



関西電力㈱大飯発電所
(新規制基準対策～メンテナンス)



和歌山県有田太陽光発電所
(新設工事)



福岡県大野市木質バイオマス発電設備
(機器据付工事)

KP プロジェクトストーリー



KP
PROJECT 01

■岡山県水島エネルギーセンター 「石炭焼き火力発電設備建設プロジェクト」チーム紹介



高田 翔伍
Shogo Takata
火力工事部工事グループ
2009年入社

本PJではボイラ補機設備、配管設備据付を担当。全体のムードメーカー的存在として、仲間、上司、協力会社と積極的に日々コミュニケーションをとりながら奮闘。建設現場はチームワークがなければ成り立たないということを本PJを通して改めて実感。



半田 宏治
Koji Handa
火力工事部工事グループ
2009年入社

主にボイラの補機設備据付を手がけ、常に全体の流れを把握しながら担当エリアの着実な遂行に努めた。終盤には先輩社員の後方支援を行うまでに成長。厳しい現場を経て、自分に自信が持てただけでなく、信頼できる仲間にも巡り会えたことが一番の財産。



西 勲宣
Hironobu Nishi
火力技術部溶接管理グループ
2010年入社

現場配管におけるサポート溶接士としてプロジェクトに参画。先輩溶接士に学びながら日々の作業に従事。放射線透過試験(RT)に合格したときには大きなやりがいと達成感を感じた。腕を磨き、どんな現場にも呼んでもらえるようになることが目標。

※所属は当時のもの



KP
PROJECT 02

■原子力の新規制基準対策工事 「高浜3号機 竜巻対策プロジェクト」チーム紹介



田中 健司
Takeshi Tanaka
原子力工事部計画グループ
2010年入社

各事業所に対してお客様のニーズを伝え、工事・着手ができるようにコーディネート。現場とお客さまとの間に立つ、バランス的な存在だ。本PJの経験を活かし、今後携わる現場でも、すべての人が安全かつスムーズに働ける環境作りをしたいと考えている。



島田 康弘
Yasuhiro Shimada
原子力工事部設計グループ
2012年入社

安全対策工事に係る強度・耐震評価業務に携わる。国の新基準をはじめ、想定される課題や制約の中で、お客様のニーズに応えるために日々向き合う。今後は自分自身で解析ソフトを使い、評価できるようにすることを目指す。



野村 聡
Satoshi Nomura
高浜事業所機械課機械C係
2015年入社

現場で作業責任者として活躍。多くの協力会社と密にコミュニケーションをとることで、日々変わっていく状況を把握。現場では的確な指揮、指導ができるように心がけた。この現場で完遂したという自信と経験は現在に生きていて感じている。

※所属は当時のもの

関電プラントの技術と知識と経験の結集!! 岡山県水島エネルギーセンター 「石炭焼き火力発電設備建設プロジェクト」

岡山県の水島エネルギーセンター「石炭焼き火力発電設備」建設工事は、石炭焼きボイラ/蒸気タービンで発電量11.2万kWという大規模プロジェクト。関西電力管外で初めてとなる発電設備一括工事、しかも今回は通常稼働中の化学工場内での発電設備の建設工事。豊富な経験と高度な技術で完遂したプロジェクトを振り返る。



KPの高い技術力を結集! 未来につながるプロジェクト

プロジェクトの舞台は、岡山県倉敷市の水島エネルギーセンター。無数の機器と配管で敷地内を埋め尽くされた化学工場内での建設工事は、資機材の配置等様々な制約があり、作業も困難を極めることが予想された。いざ工事が始まると、運転中の既設配管が走る真横での作業など、メンバーは常に細心の注意を払いながら監督にあたる。しかも今回は、土木、機械、電気といったすべての工事が輻輳(ふくそう)する難度の高い工程調整を要し、当社の施工管理技術力が遺憾なく発揮された。こうした当社の技術力に加えて、メンバーの明るくオープンな気質も相まって、日ごとに協力会社との信頼関係が築かれていった。

完遂することで見えた新しい景色

大きな建設現場の場合、プロジェクト全体を常に思い描いた上で、状況に応じて自らが判断し、解決しなければならない場面も多い。しかも工期中は地震(鳥取沖地震)や天候不良も重なり、経験豊富なメンバーでさえ「納期に間に合わないかもしれない」という思いがよぎった。しかし、これまで培ってきた「技術」と「知識」と「経験」に加えて、次の段階では何をすべきかという「現場力」とチームで支えあう「組織力」で乗り切り、無事完遂に至った。この水島プロジェクトの経験を通して、関電プラントが関西圏以外のエリアでも高い技術力を発揮できると、確かな手応えを感じている。

すべてが初めての経験!! 手探りの中で完遂した原子力の 「新規制基準対策(竜巻対策)工事」

原子力発電所の再稼働へむけて、平成25年7月に新規制基準が施行された。これに適合すべく関電プラントでは、シビアアクシデント(SA)※や火災防護のための安全対策工事に携わっている。3.11以降のわが国のエネルギー政策において、大変意味のある仕事だ。ここでは高浜発電所3号機再稼働での海水ポンプ竜巻飛来物対策設備設置工事プロジェクトについて紹介する。

※シビアアクシデント(SA)---原子力発電所の設計時の想定を超える過酷事故



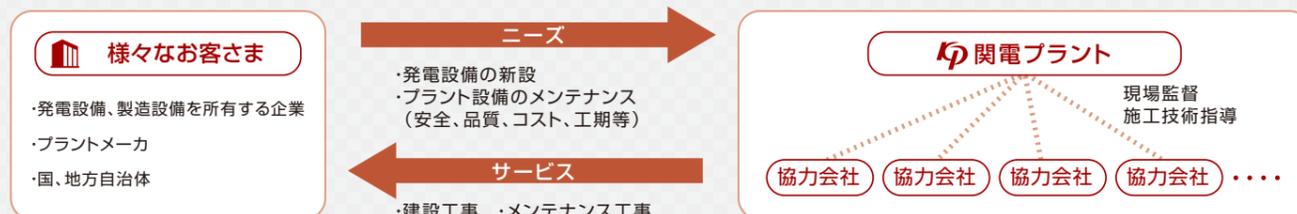
新規制基準へ適合するために、3年を要したビッグプロジェクト

「海水ポンプに竜巻対策を施して欲しい」という、お客さまからのオーダー。当初はコンパクトな設備での着地を想定していたが、国の新規制基準に適合するためには、当初の予定よりもかなり大掛かりな対策・設備が必要となった。例えば竜巻で飛んでくる飛来物を想定した対策では、入射角度の試算から重さ200キロ近い鋼材が飛んでくることも想定し、損傷防止の対策を図る必要がある。対策を重ねるうち、当初の予想をはるかに超えた、足かけ3年間を要する、ビッグプロジェクトへと成長した。

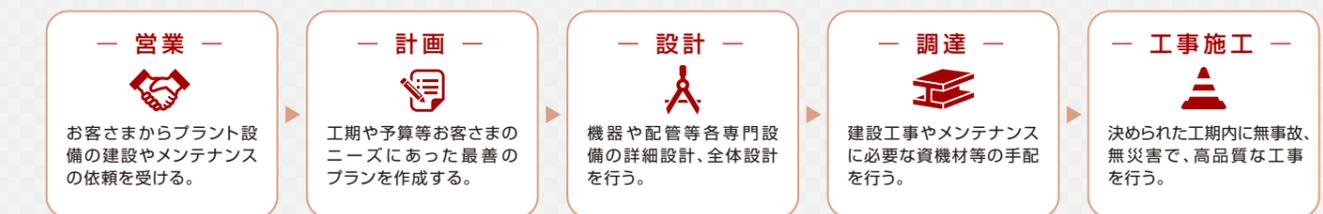
無事故・無災害での完遂を自信に。次のビジョンを描く

関電プラントの原子力事業本部は、もともと定期点検・修繕等の工事が主体。しかも今回新たに施行された新規制基準への対策工事は、当然ながら前例がなく、すべてが新しい取り組みであった。計画・設計と実際の現場では、毎日のようにすりあわせを行い、試行錯誤の繰り返し。特に安全対策工事では作業工程スケジュールも厳しい中で発生する突発的な仕様変更や課題に対し、原子力発電所の一日も早い再稼働を目指すお客さまのニーズに応えるべく、全社一丸となって取り組み、無事故・無災害での完遂を成し遂げた。全国に先駆けて、この新規制基準対策工事をやり遂げたことは、今後新たな受注工場の規模や範囲の拡大へと確実に繋がっていく。

関電プラントの仕事の領域



関電プラントの仕事の流れ



キーワードで知る関電プラント



プラントエンジニアリング

Plant Engineering

KPのフィールドは、火力、原子力をはじめとした発電プラント設備だけに留まらず、太陽光、バイオマスといった再生可能エネルギー発電設備、その他石油・ガス・化学製品等、社会インフラを支える、あらゆる産業プラント設備にまで広がりをみせています。こうした多様な場面で、計画・立案から、設計、調達、施工、建設、試運転、メンテナンスまで一貫してお客さまへ提供できる、確かな創造力、技術力、組織力こそがKPの強みです。



社員数 約1,400名

Approximately 1,400 employees

ここKPには、約1,400名の社員が経営本部・プラント事業本部・原子力事業本部の3本部に属しています。そして、この1,400名が「エネルギーという社会インフラを支える」といった、強い使命感のもと、互いに連携し、協力しあうことで、KPは成り立っているのです。

日々の業務の中で、社員同士はもちろん、お客さまや協力会社等様々な人たちとのコミュニケーションが重視されることもあり、社内全体がいつも活気に満ち溢れています。



技術者集団

Engineer group

KPの主な業務は施工管理。すなわち施工計画に始まり、施工中は仲間の安全を守り、工期内に高品質な工事を完成させるといった一連のプロセスです。これには、高度な技術や専門知識はもちろんのこと、自ら行動し、何事にも前向きに取り組む力、仲間と意思疎通を図り、仲間の能力を存分に引き出す力が必要となります。こうした優れた施工管理能力を備えて初めて、多くのお客さまや協力会社の信頼を勝ち得た、立派な“KPパーソン”となるのです。また近年では、溶接士の育成といった“直営力”の強化にも取り組んでいます。



関東進出

Advance to Kanto

これまで70年以上にわたり、関西の灯りを守り続けてきたKPは、長年地域に根ざし、エネルギー社会を下支えしてきた、いわば発電設備のすべてを知り尽くしたプロフェッショナルの集まりです。そして、これからのKPは、ここ関西圏だけではなく、関東をはじめとした全国のお客さまに対しても、これまでどおり、お客さまに寄り添い、豊かな提案力と、安全かつ高品質な工事力により、お客さまに満足していただけるベストパートナーを目指します。



創業70年以上

Founded over 70 years

KPの始まりは、戦後の復興目覚ましい昭和28年、関西電力グループの新社として設立された「関電興業株式会社」です。平成16年に現在の「関電プラント株式会社」に社名が変更されましたが、KP社員一人ひとりには、発足以来70年以上の長きにわたり、現在もなお、関電興業時代から長年培われた高度な技術力と共に、お客さまの期待に応える付加価値の高いサービスを提供しようとする、実直で前向きな精神が受け継がれています。



関西電力グループ

Kansai Electric Power Group

KP=関電プラントは、約100社、33,000名を有する関西電力グループの一員であり、主に関西電力管内の発電所に拠点を設置し、電気の安全・安定供給を支えています。

KPには、この関西電力グループのスケールメリットを活かした健康保険制度や各種個人保険制度をはじめ、積立預金制度や持株会制度等、従業員だけでなくご家族も含め、安心した生活が送れる様々な制度が備わっています。

教育研修制度

階層別に効果的なカリキュラムを計画・実施！
個別の教育ニーズにも対応し、全面的なバックアップ体制を完備

関電プラントでは新入社員教育から中堅社員、管理者に至るまでの階層別の教育コースを用意しています。新入社員教育では、社会人としての心構えやマナー、社内の様々なルールについての修得とともに、関電プラントの事業に関して導入教育を行います。その後、それぞれの部門の基礎教育とOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング=実務を通じての現地研修)によって、専門的な技術トレーニングを実施。テクノセンターをはじめとした研修施設で担当分野に関する知識や技能を一つひとつ着実に身につけていくことができます。このほかに、個別の教育ニーズに対応して、社外研修の受講やメーカ、エンジニアリング会社への国内派遣を行います。また、公的な資格の取得に対する祝金の贈呈や受験費用の一部負担、勤務上の配慮等、社員の公的資格取得の意欲に対して積極的なバックアップを行っており、意欲ある社員への投資を惜しまない体制をとっています。



テクノセンター (兵庫県三田市)



原子力技術研修センター (福井県高浜町)



新入社員教育風景



福利厚生

社員の快適な暮らしをサポート。
住環境から制度面まで、様々な側面で社員生活を支える

社員の各地での勤務をサポートするため、勤務地の周辺に独身寮、転勤者用住宅を完備。福利厚生の制度面では、個人のライフスタイルにあわせた各種制度をはじめ、財形貯蓄制度、持株会制度等があります。さらに、完全週休二日制や傷病積立休暇制度、慶弔金制度、育児・介護に対する支援といった生活の質を高める制度の充実にも力を入れています。また、社員の心身の健康管理についても、健康診断はもとより、健康管理室の設置や看護師による定期巡回相談、メンタルヘルスケア等十分な配慮を行っています。



安土寮(福井県高浜町)
各事業所のすぐそばに寮を完備。充実の住環境を整備しています。



青葉寮(福井県高浜町)

COLUMN
女性も活躍できる
フィールド

関電プラントは、人が財産だと考えます。男性が多い会社ではあるのですが、とても働きやすく女性が活躍できる風土が整っています。とにかく活気がありコミュニケーションが活発に行われているため、悩んでいることも仲間と相談することで解決することが多いです。



総務人事部
人事労務グループ
宮森 実和子
(2015年入社)

※所属は当時のもの

よくある質問

Q1. 年次有給休暇について教えてください。

年次有給休暇は最高20日付与されます。年間休日数は120日以上、特別休暇等もあり、繁忙期はありますが休暇を取得しやすい環境です。勤務時間等の労務管理にも厳正に取り組んでいます。

Q2. 配属はどのように決まるのですか？

本人の希望や、工事の受注状況、今後の育成等を踏まえ決まります。すべて希望どおりになるとは限りませんが、入社後の面談や定期面談では、希望勤務地、トライしたい業務・資格、配慮が必要な家庭状況等を相談できます。

Q3. 技術系の募集学科について教えてください。

技術系は文理問わずすべての方が対象です。入社後に育成する制度が整っており、教育研修の受講や資格取得支援等が受けられますので、安心してご応募ください。もちろん機械・電気等の専門知識も大いに活かれます。

Q4. 育児休暇を取得することはできるのでしょうか？

入社1年以上の方は、最長でお子さんが2歳になるまで取得できます。また小学校就学までの時短勤務、時間外勤務免除等の制度を利用する社員もおり、ライフイベントにあわせて働くことのできる環境作りに取り組んでいます。

 関電プラント株式会社

 関西電力グループ
power with heart

<https://www.kanden-plant.co.jp>

▼ WEB SITE



[お問い合わせ先]

関電プラント株式会社 総務人事部 人財開発グループ

〒531-8502 大阪市北区本庄東2丁目9番18号

TEL.06-6359-7441(直通) E-mail.kp-saiyou@kanden-plant.co.jp